

数 量 総 括 表

レベル2・3 工種・種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数 量	計上数量	備 考
道路土工						
掘削工	掘削	土砂, オープン, 5,000m3未満	m ³	150.6	150	
路床盛土工	路床盛土	4.0m<W	m ³	22.5	20	
残土等処理工	土砂等運搬		m ³	414.3	410	
	残土等処分		m ³	414.3	410	
軽量盛土工						
作業土工	床掘		m ³	285.8	290	
	埋戻し	最大埋戻幅 1m未満	m ³	25.8	30	
軽量盛土	発砲スチロール設置		m ³	130	130	
	ESP D-25		m ³	74	74	
	ESP D-20		m ³	56	56	
	緊結金具		個	299	299	
壁面工	壁面材設置		m ²	60.4	60	
	着脱式軽量壁面材	480×980×25	枚	112	112	
	着脱式軽量壁面材	480×480×25	枚	8	8	
	着脱式軽量壁面材	230×980×25	枚	7	7	
	着脱式軽量壁面材	280×480×25	枚	5	5	
コンクリート床板	コンクリート床板	t = 150mm 24-12-25BB W/C ≤ 55%	m ³	22.3	22	
	鉄筋工	SD345、D13 (150×150)	t	2.15	2.15	
	目地材	30m ² 未満 瀝青繊維質目地材 (t=20)	m ²	1.1	1	
基礎工	基礎工		m	38.0	38	
排水構造物工	硬質塩化ビニル管	VP-100	m	30.0	30	
	吸出し防止材	t = 50mm	m ²	0.2	0.2	
裏込砕石工	裏込砕石 (軽量盛土)	6m以下 単粒度砕石 4号	m ³	18.4	18	
間詰工	間詰工		箇所	7	7	

数 量 総 括 表

レベル2・3 工種・種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数 量	計上数量	備 考
舗装工						
アスファルト舗装	表層	再生密粒度アスコン 20F t=5cm	m2	543.5	544	
	上層路盤	粒調碎石 M-40 t=15cm	m2	510.1	510	
	下層路盤	再生碎石 RC-40 t=19cm	m2	510.1	510	
縁石工						
縁石工	アスカーブ	195cm2以上215cm2未 満	m	42.0	40	
取壊工						
コンクリート取壊し	構造物取壊し	無筋構造物	m3	1.8	2	
	殻運搬	無筋Co, 23.2km以下	m3	1.8	2	
	殻処分	無筋コンクリート	m3	1.8	2	
舗装取壊し工	舗装版破碎	As舗装厚 t=5cm	m2	543.5	540	
	舗装版切断	As舗装厚 t=5cm	m	15.2	15	
	殻運搬	As舗装版、22.0km以 下	m3	27.8	28	
	殻処分	アスファルト塊	m3	27.8	28	
防護柵工						
作業土工	床掘	土砂 標準	m ³	18.5	20	
	埋戻し	最大埋戻し幅1m未満	m ³	11.1	10	
路側防護柵工	ガードケーブル	Gc-C-4B	式	1	1	
防護柵基礎工	端末支柱基礎		基	2	2	
	プレキャスト防護柵基礎工		m	42.0	42	
	プレキャスト防護柵基 礎調整コンクリート	18-8-40BB W/C≦ 60%	式	1.0	1	
区画線工						
区画線工	車道外側線	白、実線、15 c m	m	140.1	140	

項 目	計 算 式	単位	数量
掘削工			
掘削	土砂、オープン V= 150.6	m3	150.6
路床盛土工			
路床盛土	4.0以上 土工計算書より V= 22.5	m3	22.5
残土処理工	土砂 V= (150.6 + 3.1 + 15.4 + 285.8) 掘削 防護柵床掘 Gc端末基礎床掘 軽量盛土床掘 - (0.4 + 10.7 + 25.8) × 1.1 = 414.3	m3	414.3
作業土工（軽量盛土）			
床掘り	V= 285.8	m3	285.8
埋戻し	最大埋戻幅 1m未満 V= 25.8	m3	25.8
作業土工（防護柵工）			
床掘り	V= 3.1 + 15.4 = 防護柵基礎（↓式） Gc端末支柱基礎（↓式）	m3	18.5
埋戻し	最大埋戻幅 1m未満 V= 0.4 + 10.7 = 防護柵基礎（↓式） Gc端末支柱基礎（↓式）	m3	11.1
作業土工（防護柵基礎）			
床掘り	A= 0.8 V= 0.8 × 3.9	m3	3.1
埋戻し	最大埋戻幅 1m未満 A= 0.1 V= 0.1 × 3.9	m3	0.4
床掘り A=0.8m2 埋戻し A=0.1m2 床掘り A=0.8m2 埋戻し A=0.1m2 No.29.2 3900			
作業土工（Gc端末支柱基礎）			
床掘り	V= 15.4 ガードケーブル数量計算から	m3	15.4
埋戻し	最大埋戻幅 1m未満 V= 10.7 ガードケーブル数量計算から	m3	10.7

土 工 計 算 書

測 点	距 離	オープン掘削									摘 要
		断面積	平均断面	土 量	断面積	平均断面	土 量	断面積	平均断面	土 量	
NO. 0 + 28.400		1.90									
NO. 0 + 41.900	13.5	1.05	1.48	20.0							
NO. 0 + 65.200	23.3	1.24	1.15	26.8							
NO. 0 + 78.900	13.7	4.52	2.88	39.5							
NO. 0 + 96.900	18.0	2.61	3.57	64.3							
合 計	68.5			150.6			-				

土 工 計 算 書

測点	距離	路床盛土			路床盛土			路床盛土			摘要
		W<2.5m			2.5m≤W<4.0m			4.0m<W			
		断面積	平均断面	土量	断面積	平均断面	土量	断面積	平均断面	土量	
N0.	0 + 28.400	0.0			0.0			0.46			
N0.	0 + 41.900	13.5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.53	0.50	6.8	
N0.	0 + 65.200	23.3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.51	0.52	12.1	
N0.	0 + 78.900	13.7	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.26	3.6	
N0.	0 + 96.900	18.0	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	
N0.											
N0.											
N0.											
N0.											
N0.											
合計	68.5			-			-			22.5	

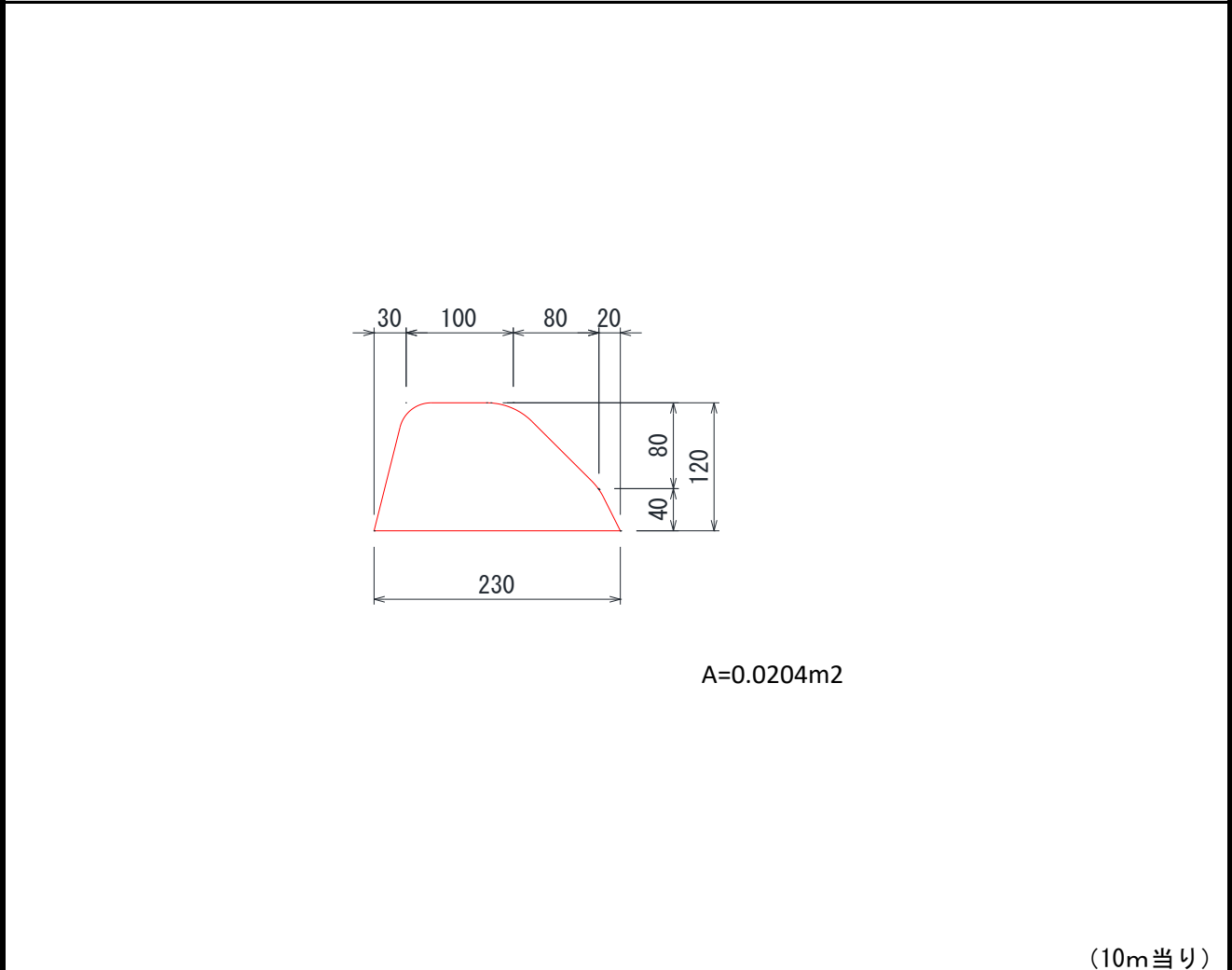
排水構造物施設工

延長調書

アスカーブ

左側測点	延長	右侧測点	延長
		NO. 0 + 26.0 ~ NO. 0 + 65.6	42.0
小計	-	小計	42.0
左右合計延長			42.0

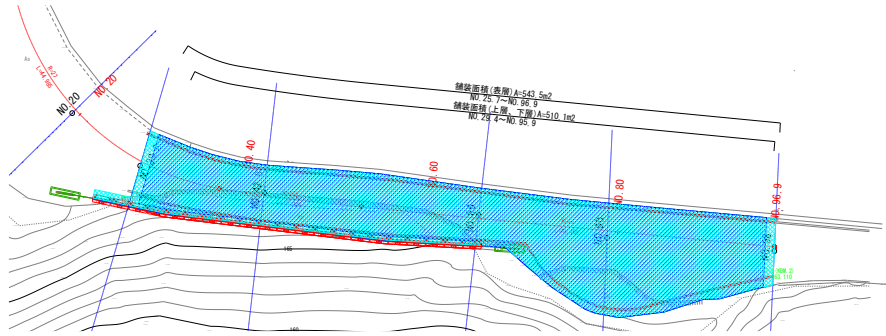
アスカーブ単位数量表


$$A=0.0204\text{m}^2$$

(10m当り)

[illegible]

アスカーブ単位数量表				(10m当り)
項 目	計 算 式			単 位 数 量
アスカーブ	【BF300】 L= 10.000 m = 10.00 m			10

項 目	計 算 式	単位	数量
舗 装 工			
車道舗装			
表層	【再生密粒度アスコン20F, t=5cm】 根拠図より A1= 543.5 m2		
上層路盤	【粒調碎石(M-40), t=15cm】 根拠図より A1= 510.1 m2		
下層路盤	【再生碎石(RC-40), t=19cm】 根拠図より A1= 510.1 m2		
根拠図			
			

区画線工内訳書			
項 目	計 算 式	単位	数 量
区画線	(区画線平面図参照)		
	【車道外側線、白、実線、15cm】		
	NO. 28. 4～NO. 96. 9 (L)	L1= 68. 0 m	
	NO. 28. 4～NO. 96. 9 (R)	L2= 72. 1 m	
		Σ L= 140. 1 m	140. 1

道路付属施設撤去工

延長調書

ガードケーブル端末支柱基礎

左側測点	箇所	右側測点	箇所
		NO. 0 + 29.1 ~ NO. 0 + 31.4	1
		NO. 0 + 64.9 ~ NO. 0 + 67.9	1
小計	-	小計	2
左右合計箇所			2

コンクリート処分量計算書

構造物取壊し(無筋)、殻運搬、殻処分

- ・ ガードケーブル端部基礎

$$V=0.6 \times 1.0 \times 3.0$$

$$= 1.8 \text{ m}^3$$

$$1.8 \text{ m}^3$$

コンクリート処分量計算書

(無筋)

- ・ ガードケーブル端部基礎

$$W = (1.8 \text{ m}^3 / 2.350 \text{ (t/m}^3) \times 1000.0 \text{ kg} =$$

$$4,230 \text{ kg}$$

- ・ コンクリートガラ処分

$$W = 4,230 \text{ kg} / 1000 \text{ (kg/t)} =$$

$$4 \text{ t}$$

道路付属施設撤去工

延長調書

アスカープ

左側測点	延長	右側測点	延長
		NO. 0 + 26.0 ~ NO. 0 + 65.6	34.6
小計	-	小計	34.6
左右合計延長			34.6

構造物撤去工内訳書			
項 目	計 算 式	単位	数 量
舗装版	破碎		
	【As舗装破碎】 撤去平面図より ・表層工 A= 543.5 = 543.5 m ²		
切断	撤去平面図より L= 7.3 + 0.9 + 7.0 = 15.2 m	m	15.2
アスファルト ガラ処分	車道舗装撤去分 車道舗装(アスファルト)取壊しより Σ A= 543.5 m ²		
	V1= 543.5 × 0.050 (舗装厚 t=5cm) = 27.2 m ³		
アスカーブ	V2= 0.0188 × 34.6 = 0.7 m ³		
	Σ A = 27.8 m ³		27.8
	車道舗装撤去分 W= 27.8 × 2.35 (t/m ³) × 1.08 ÷ (転圧減量) 71 = 71 t		

土工数量総括表

工 種	項 目	規 格	単位	数 量	備 考
土工	床掘	土砂	m3	285.8	
	埋戻し	最大埋戻幅 1m未満	m3	25.8	良質土(流用土)

土 工

床掘

測 点	単距離	断面積	平均断面積	土量	摘 要
起点 (NO. 26. 6)		7. 61			
NO. 28. 4	3. 126	7. 61	7. 61	23. 8	
NO. 41. 9	14. 335	7. 90	7. 76	111. 2	
NO. 64. 9	23. 060	5. 17	6. 54	150. 8	NO. 65. 2断面
			合計	285. 8	m3

埋戻し(最大埋戻幅 1m未満)

測 点	単距離	断面積	平均断面積	土量	摘 要
起点 (NO. 26. 6)		0. 77			
NO. 28. 4	3. 126	0. 77	0. 77	2. 4	
NO. 41. 9	14. 335	0. 67	0. 72	10. 3	
NO. 64. 9	23. 060	0. 46	0. 57	13. 1	NO. 65. 2断面
			合計	25. 8	m3

2. 輕量盛土工

- 数量集計表

[illegible]

平均断面法 数量計算書

[illegible]

平均断面法 数量計算書

[illegible]

・ 緊結金具

	V (m3)	×	N (個/m3)		個数 N(個)
EPS D-25	74	×	2.3	=	170
EPS D-20	56	×	2.3	=	129
			ΣN =	299	299 個

※ 表中の個数及び合計の値は、EPS現場加工等による増加分を考慮していません。

ここに、 V : 規格別EPSブロックの数量 (m3)
N : 2.3 個/m3

平均断面法 数量計算書

[illegible]

5. 壁面工

• 数量集計表

[illegible]

・ 壁面材

名称	形 状 高さ × 幅 × 厚さ (mm)	単位面積 A (m2/枚)	数 量 N (枚)	面 積 A (m2)	摘 要
無印	480 × 980 × 25	0.500	112	56.00	QLW-P1
A	480 × 480 × 25	0.250	8	2.00	QLW-P2
B	230 × 980 × 25	0.250	7	1.75	QLW-P3
C	230 × 480 × 25	0.125	5	0.63	QLW-P4
	合 計		132	60.38	
Σ A =				60.4	(m2)

※ 設置位置等は、「壁面展開図」を参照。

※ 壁面材数量は、加工ロス分を含む。

・ 壁面積 (t=25mm)

A (m2)	面積 A(m2)
60.400	
A = 60.40	60 m2

※ 上記、壁面積は加工ロス分を含む。

3. コンクリート床版工

• 数量集計表

[illegible]

< 床版部・t=150mm >

＊ 形状寸法

種 別	施工延長 L (m)	平面積 A (m2)	厚 さ t (m)	型 枠 L2 (m)		
上部コンクリート床版	40.521	148.37	0.150	40.521		
合 計 Σ =	40.521	148.37		40.521		

※ 「コンクリート床版平面図」を参照。

＊ 目地材 設置寸法

	設置幅 B(m)						摘 要
	上部コンクリート 床版						
1	3.675						
2	3.775						
小計	7.450						
合 計 Σ B =						7.450 (m)	

※ 目地材設置位置・設置幅は、「コンクリート床版平面図」を参照。

・ コンクリート (24-12-25BB W/C≦55%)

	Σ A (m2) × t (m)	体積 V(m3)
床版部	148.37 × 0.150	
	Σ V = 22.3	22 m3

・ 型 枠

	Σ L2 (m) × t (m)	面積 A(m2)
床版部	40.521 × 0.150	
	Σ A = 6.08	6 m2

・ 鉄 筋 (SD345, D13 (150×150))

(参考) 鉄筋金網の単位質量 W₀ = 14.000 kg/m2 (建設物価 P.75参照 2023年度版)

	A2 (m2) × W ₀ (kg/m2) / 1,000 ロス率+1.03	重量 W(t)
床版部	153.87 × 14.000 / 1,000 W = 2.15	
	2.150 × 1.03 W = 2.21	2.21 t

※ 表中の面積[A2(m2)]は、下式により求めた値とする。(国土交通省土木工事積算基準 R5年度版)

$$A2(m2) = V(m3) [コンクリート体積] \times 69m2 / 10m3$$
$$= 153.87 m2 (コンクリート床版 10m3当り鉄筋 69m2)$$

・ 目地材 (t=20mm)

	Σ B (m) × t (m)	面積 A(m2)
床版部	7.45 × 0.150	
	A = 1.12	1.1 m2

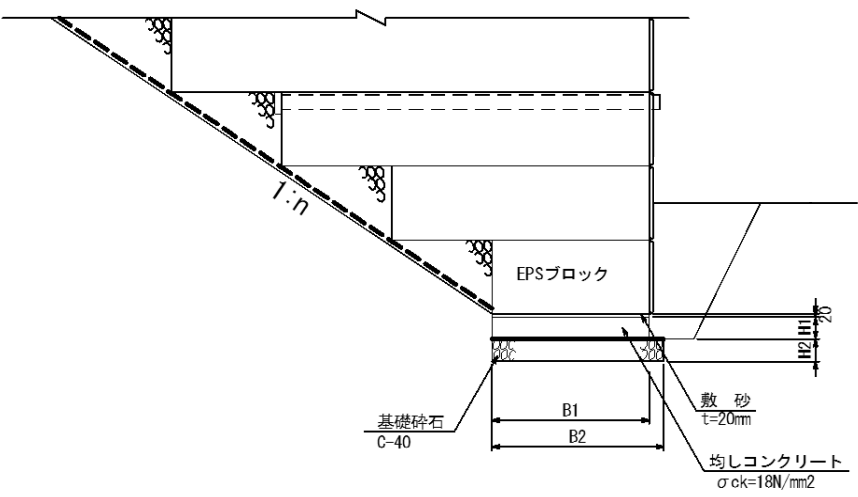
4. 基礎工・排水構造物工

- 数量集計表

[illegible]

< 基礎部 >

・ 断面図



＊ 形状寸法

均しコン高	基礎砕石高	均しコン幅	基礎砕石幅				施工延長
H1 (m)	H2 (m)	B1 (m)	B2 (m)				L (m)
0.100	0.100	1.500	1.600				38.021

(均しコンクリート)

・ コンクリート (18-8-40BB W/C≦60%)

B1 (m)	×	H1 (m)	×	L (m)		体積 V(m3)
1.500	×	0.100	×	38.021		
10mあたり					V = 5.70	6 m3
1.500	×	0.100	×	10.0	V = 1.50	

・ 型 枠

H1 (m)	×	L (m)	×	2		面積 A(m2)
0.100	×	38.021	×	2		
10mあたり					A = 7.60	8 m2
0.100	×	10.000	×	2	A = 2.00	

(基礎碎石)

・ 基礎碎石 (RC-40, t=10cm)

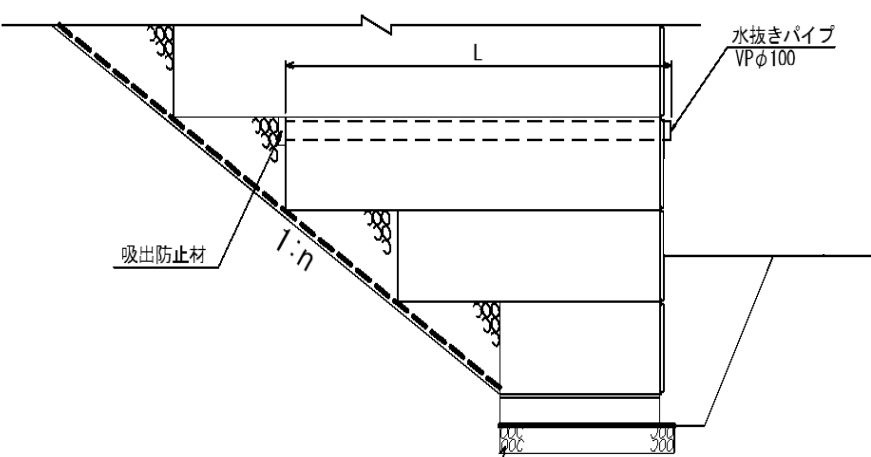
B2 (m)	×	L (m)		面積 A(m2)
1.600	×	38.021		
10mあたり			A = 60.83	61 m2
1.600	×	10.000	A = 16.00	

(敷砂)

・ 敷砂 (t=20mm)

B1 (m)	×	L (m)		体積 V(m3)
1.500	×	38.021	×	0.02
10mあたり			V = 1.14	1 m3
1.500	×	10.000	×	0.02
			V = 0.30	

< 排水関係 >



・ 水抜きパイプ (VP φ 100)

N (箇所) × B (m)		長さ L(m)
11	× 2.73	
L = 30.03		30.0 m

・ 吸出防止材 (t=50mm, 150×150)

N (枚) × A (m2)		面積 A(枚)
11 (= 水抜きパイプ設置箇所数)	× 0.15 × 0.15	
A = 0.2		0.2 m2

6. 裹込碎石工

• 数量集計表

[illegible]

平均断面法 数量計算書

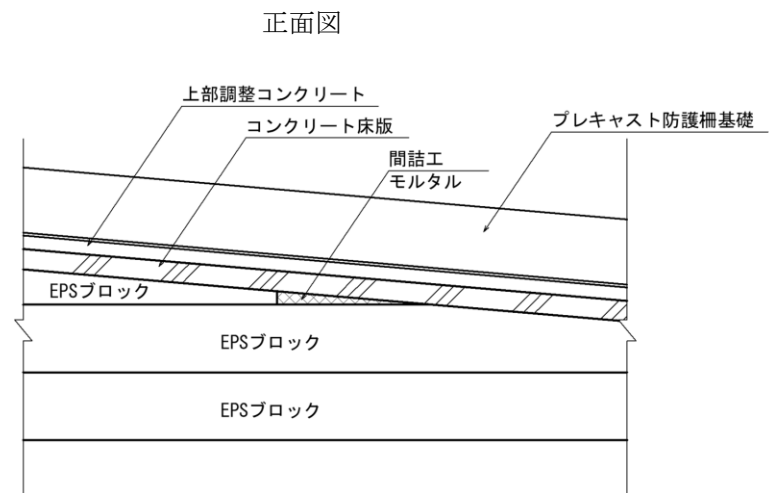
[illegible]

7. 問詰工

• 数量集計表

[illegible]

< 間詰工 >



※ モルタル 正面積 設置寸法 箇所数 N = 7 箇所

	正面積 A (m2)	設置幅 B (m)	体 積 V (m3)				摘 要
1	0.100	2.650	0.265				
2	0.065	2.650	0.172				
3	0.099	2.650	0.262				
4	0.076	2.650	0.201				
5	0.057	2.650	0.151				
6	0.040	2.650	0.106				
7	0.071	2.050	0.146				
小計	0.508		1.303				

※ 正面積・設置幅及び箇所は、「軽量盛土工壁面展開図, 軽量盛土構造図(2)」を参照。

・ モルタル

V (m3)	体積 V(m3)
1.303 (上表より)	
$\Sigma V = 1.30$	1 m3

・ 型 枠

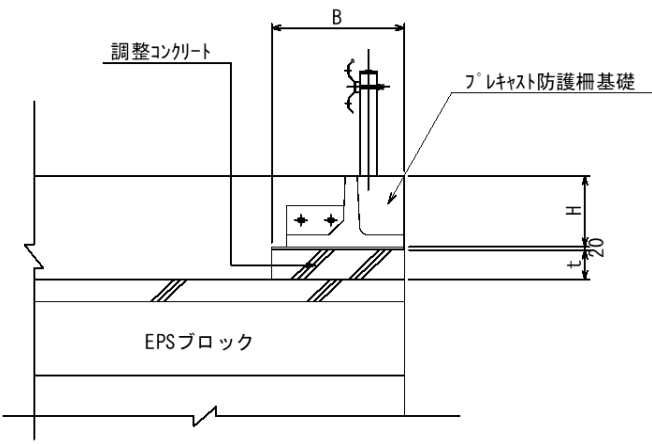
A (m2) × 2 (両面)	面積 A(m2)
0.508 × 2	
(上表より ※正面積合計)	
$A = 1.02$	1 m2

8. 防護柵基礎工

• 数量集計表

[illegible]

< 防護柵基礎工 >



* 形状寸法

厚さ t (m)	底版幅 B (m)	延 長 L (m)					
0.100	0.900	42.000					

* 目地材

規 格	箇所数 N (箇所)			摘 要
t=10mm	4			調整コンクリート部

・ 防護柵基礎 (プレキャストGr基礎)

L (m)	延長 L(m)
42.000	21 個
L = 42.00	42 m

・ 上部調整コンクリート (18-8-40BB W/C≦60%)

t (m) × B (m) × L (m)	体積 V(m3)
0.100 × 0.900 × 42.000	
V = 3.78	3.8 m3

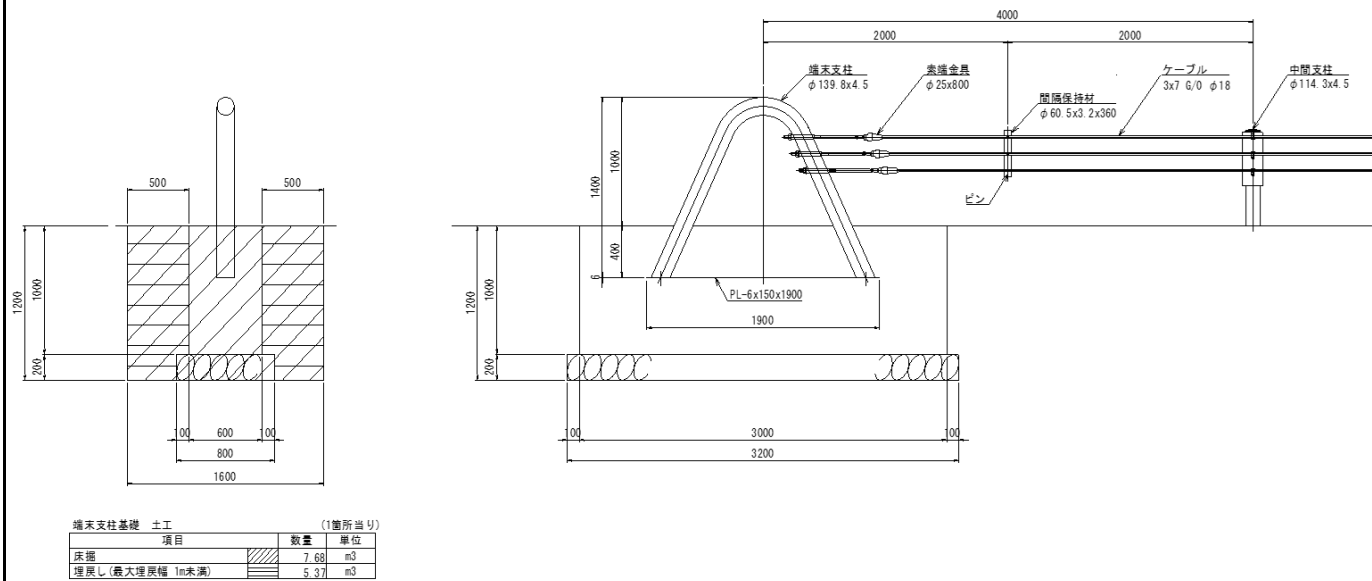
・ 型 枠

t (m) × 2 (両面) × L (m)	面積 A(m2)
0.100 × 2 × 42.000	
A = 8.40	8.4 m2

・ 目地材(調整コンクリート部) (t=10mm)

t (m2) × B (m) × N (箇所)	面積 A(m2)
0.100 × 0.900 × 4	
A = 0.36	0.4 m2

ガードケーブル 数量計算



名 称	種 別	単位	数 量
[1] 端末支柱 部品名	$\phi 139.8 \times 4.5 \times 1400$	本	2
[2] 中間支柱 部品名	$\phi 114.3 \times 4.5 \times 1140$	本	11
[3] 間隔保持材 部品名	$\phi 60 \times 3.2 \times 360$	個	12
[4] ケーブル 部品名	$3 \times 7 \text{ G/0 } \phi 18$ $L = 42.0 \times 3 = 126.000$	m	126.00

名 称	種 別	単位	数 量
[5] 端末支柱基礎 箇所数	B0.6×H1.0×L3.0	箇所	2
コンクリート	$V_n = 0.600 \times 1.000 \times 3.000 = 1.800$	m^3	
18-8-40BB	$V = 1.800 \times 2 \text{ 箇所} = 3.600$	m^3	3.60
型枠	$A_n = (3.000 + 0.600) \times 2 \times 1.000 = 7.200$	m^2	
	$A = 7.200 \times 2 \text{ 箇所} = 14.400$	m^2	14.40
基礎碎石	$A_n = 0.800 \times 3.200 = 2.560$		
RC40-0	$A = 2.560 \times 2 \text{ 箇所} = 5.120$	m^2	5.12
土工(端末基礎工)			
床掘	$V = 7.680 \times 2 \text{ 箇所} = 15.360$	m^3	15.36
埋戻し	最大埋戻幅 1m未満		
	$V = 5.370 \times 2 \text{ 箇所} = 10.740$	m^3	10.74